

## 円山川の想いに関する意見

これまでの委員会、アンケート、ヒアリング結果などから、円山川に関する主な意見・想いをまとめたものです。

- ・支川の勾配は急勾配、本川の勾配は緩勾配。すり鉢状の地形
- ・下流域の勾配は、特に緩い（河口～15km付近）。
- ・豊岡盆地の地盤沈下。
- ・人口が集中していない但馬としての特徴
- ・人々が安心して、安全に暮らせること
- ・川を封じ込めるのではなく、可能な限り妥協しあう整備
- ・直轄上流部、下流部の無堤地区の洪水対策
- ・中流部の改修との調整・整合性
- ・出水時に問題となりそうな橋梁  
（KTR 円山川橋梁、鶴岡橋、奈佐小橋、鳥居橋）
- ・上流と下流の一部河道の狭い箇所（日置、戸島など）
- ・上流域の森林の荒廃に対する下流の治水への影響
- ・都市化要因等による水量の変化
- ・弱小堤防の解消
- ・遊水地と地域住民の協力体制
- ・治水重視の従来型計画に対する環境を重視した整備の整合性
- ・過去の円山川の改修計画の評価
- ・河川計画及び基準と改修の経緯
- ・円山川下流域は非常に豊かな自然が残っている
- ・平常時の円山川の環境の保全
- ・コウノトリやサギなど自然の動植物と共生できる川
- ・比較的良好な水環境
- ・サケが遡上する良好な自然環境、水環境
- ・自然をある程度残した整備
- ・特定種、貴重種の保全対策
- ・上之郷の河畔林、下鶴井のヨシ原の保全
- ・外来種の侵攻が著しく、早急な対策が必要
- ・魚種の減少
- ・河道の単純化による魚の生息・産卵場所の減少
- ・魚の遡上機能のない蓼川井堰
- ・農耕や都市活動に欠かせない用水
- ・四季を通じての円山川の美しさの保存
- ・風景としての円山川

- ・地域の日常と密接に関連していることが感じられるような景観
- ・旧円山川の景観（円山川の忘れ形見）
- ・舟運から陸上輸送への変化
- ・町と川のあり方（舟運からJRへの交通の変化等から）
- ・生活の場としての円山川
- ・人が住みやすい環境（城崎～豊岡の道路事情を例として）
- ・川に近づきやすい整備
- ・一般住民の方のレジャー等の利用の場としての河川
- ・下流域の子供が安全に自然に触れる状況を作って欲しい
- ・河川利用として、採草地が多い。
- ・ゴミの問題（美しい但馬・円山川）
- ・地元の人たちが認識している円山川の文化的景観や営みなどの保全
- ・流域の人々の円山川への関心の程度
- ・住民の方の暮らしの声を反映させる方法
- ・経済的視点から考えた整備計画